

苫小牧市生物多様性地域戦略 進捗報告

1 取組状況の総括

令和7年度の取組は、全取組の約55%が「達成」または「概ね達成」となっており、戦略は着実に進展しています。特に「自然環境の維持・再生（戦略①）」「潤いある生活と文化の継承（戦略④）」における活動が進められております。一方で、専門的な知見を要する「自然・生物情報を活用するための基盤整備（戦略⑤）」については、「未着手」が多くなっており、このことは、専門的な知見を要するほか、各課の連携による取組が多いことから、着手に向け横断的に取組を進めていく必要があると考えています。

2 全実施項目（部署重複分を含む）の判定割合

・達成		38% (37 件)
・概ね達成		17% (16 件)
・着手・検討中		12% (12 件)
・未着手		33% (32 件)
・取組終了		0% (0 件)

3 基本戦略別達成度グラフ（達成＋概ね達成の割合）

・戦略①：自然環境の維持・再生		23%
・戦略②：山-川-湿原-湖沼-海の生態系を活用		3%
・戦略③：地域産業や市民の暮らしの活性化		8%
・戦略④：潤いある生活と文化の継承		21%
・戦略⑤：自然・生物情報を活用するための基盤整備		0%

4 基本戦略別の実施状況

基本戦略 ①：多様な生物が棲むことができる自然環境の維持・再生

【対象：施策1～4 全37項目】

・達成		51% (19 件)	樽前ガロー整備、苫小牧川環境整備、ウトナイ湖における水鳥調査、関係機関と連携しイベントの実施、エゾシカ対策（242頭捕獲）、ヒグマ対策（ドローン調査・ゾーニング計画策定）、特定外来種駆除（アライグマ633頭捕獲）
・概ね達成		8% (3 件)	安平川水系の水質監視、金太郎の池の外来種放流禁止看板設置
・着手・検討中		6% (2 件)	

・未着手  35% (13 件)

R8 以降目標：

- 基本戦略 ②：様々な施策課題の解決に、山-川-湿原-湖沼-海の生態系を活用

・概ね達成  29% (2 件)

・着手・検討中 57% (4 件)

・未着手 14% (1 件)

R8 以降目標：

- 基本戦略 ③：ネイチャーポジティブを達成する地域産業や市民の暮らしの活性化

- ・達成 37% (6 件)

・概ね達成 19% (3 件)

・未着手 44% (7 件)

2

R8 以降目標：

- ・エゾシカ肉の有効活用を拡大。
- ・ハスカップバンクへの新規団体獲得。エコツーリズムに関する情報の調査。
- ・地場産品を使った給食提供を継続し、年4回の提供を目指す。

基本戦略 ④：自然と生きものと共存できる暮らしへの転換、潤いある生活と文化の継承

【対象：施策1～4 全23項目（部署重複分を含む）】

- ・達成  52%（12件）
生物多様性普及啓発講演会の実施。自然体験イベント、ウトナイ湖での活動にかかるSNS発信（376回更新）、サンガーデンでの緑化相談（287回）、出前講座
- ・概ね達成  35%（8件）
こころの授業（49回）、プラごみ削減支援、博物館ボランティア、北大研究林のフィールドを使った語学講習会
- ・着手・検討中  9%（2件）
障がい者就労の職場体験
- ・未着手  4%（1件）
環境生活課主体の海岸清掃

R8 以降目標：

- ・新たな環境教育の場を検討し実施。
- ・全小学校を対象とした「こころの授業」実施。
- ・ウェルビーイングを向上するための取組を、関係課連携し検討。
- ・エゾシカ円卓会議にて農業被害及び生活環境被害の削減における対策を継続し検討。

基本戦略 ⑤：自然・生物情報を活用するための基盤整備

【対象：施策1～3 全14項目（部署重複分を含む）】

- ・着手・検討中  29%（4件）
美術博物館においてコケ標本の同定を進め研究報告に掲載。鳥獣保護センターの活動をSNS等を利用し発信。広域連携の意見交換
- ・未着手  71%（10件）
苫小牧市指標種の選定。レッドリストの作成。自生地マップの作成。生物情報データベースの構築、市民参加型調査、企業へのインセンティブ設計

R8 以降目標：

- ・苫小牧市における基礎的な生物調査や環境調査の実施。
- ・苫小牧市指標種を選定するにあたり、調査及び検討。
- ・環境保全や生物多様性に配慮した企業の取組に対してのインセンティブ導入の検討。